



第83期
中間報告書

(平成30年3月1日から
平成30年8月31日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第83期上半期(第2四半期連結累計期間：平成30年3月1日から平成30年8月31日まで)を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成30年10月

取締役社長

岡谷篤一



営業の概況

◆ 営業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の貿易摩擦等により緊張感が高まりましたが、好調な米国経済を背景に全体として緩やかな成長が持続しました。

日本経済は、製造業の活発な生産活動に加え、好調な企業収益を背景に設備投資と個人消費が堅調に推移しました。

営業の概況

このような状況下にあつて、当第2四半期連結累計期間における売上高は、4,575億34百万円で前年同期比12.2%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が309億62百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益が100億61百万円（前年同期比19.0%増）、経常利益が122億7百万円（前年同期比12.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は82億65百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

中間配当金につきましては、1株あたり100円とし、支払開始日を10月31日とさせていただきます。

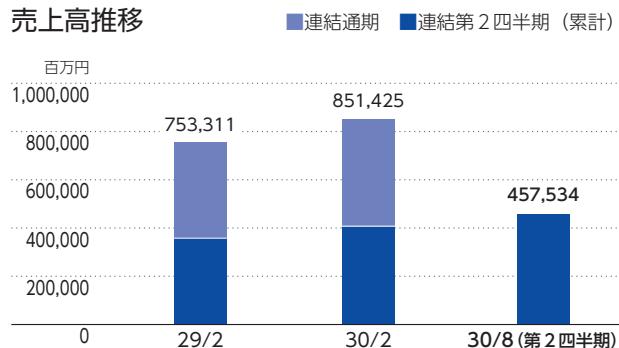
◆ 通期（平成30年度）の見通し

通期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、売上高は9,200億円を予想しております。

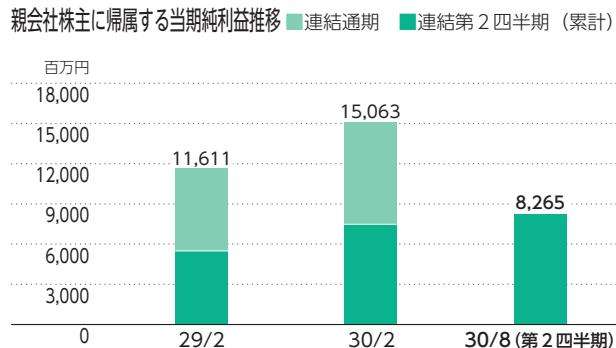
経常利益は230億円、親会社株主に帰属する当期純利益は170億円を予想しております。株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

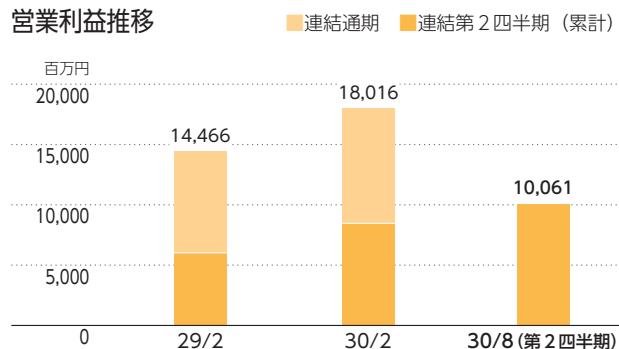
売上高推移



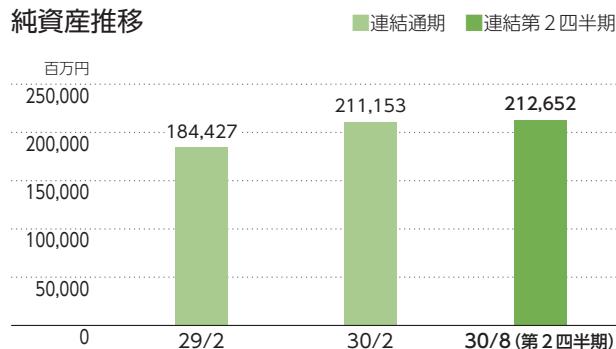
親会社株主に帰属する当期純利益推移



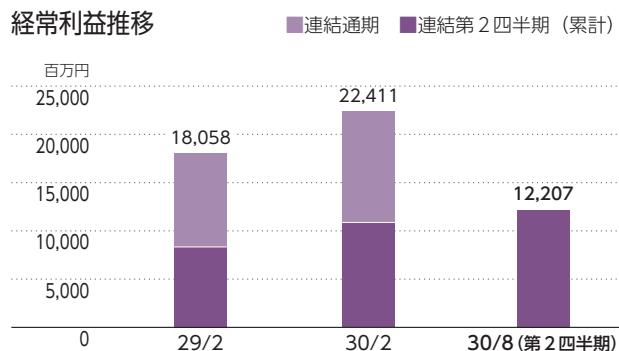
営業利益推移



純資産推移



経常利益推移



総資産推移



トピックス

1. 中村鋼材株式会社の子会社化

鉄鋼事業の強化を図るため、中村鋼材株式会社の鉄鋼事業を引き継ぐ新設会社の株式（97%）を取得し、平成30年3月に子会社化しました。

2. 米国岡谷鋼機会社ホプキンスビル事務所を開設

米国岡谷鋼機会社は、平成30年3月にホプキンスビル事務所を開設しました。自動車産業の集積地であるケンタッキー州において、地域に密着した営業活動を行います。



3. インド岡谷鋼機会社アーメダバード支店を開設

インド岡谷鋼機会社は、平成30年3月にアーメダバード支店を開設しました。自動車産業が発展するグジャラート州において、地域に密着した営業活動を行います。



4. 鶴岡工業高等専門学校、株式会社新池田と協定を締結

鶴岡工業高等専門学校および当社グループの株式会社新池田と三者で、平成30年6月に寄付事業に関する協定を締結しました。同校に対する寄付を通じて地域課題に関連した研究やIT人材の育成を行い、地域活性化を目指します。

5. 平成30年7月豪雨への義援金寄付

西日本を中心に甚大な被害を及ぼした豪雨により被災された方々に対し、平成30年7月にグループ会社と共に200万円を義援金として寄付しました。

6. チャリティーコンサートを開催

名古屋市日本特殊陶業市民会館において、今回で6回目となる、「OKAYA CHARITY CONCERT 2018 ～感謝の夕べ～」を平成30年7月に開催し、2,296席全席完売となりました。チケット売上金と当社からのマッチングギフト、皆様からお預かりした募金の合計484万円余を社会福祉法人愛知県共同募金会に寄付しました。



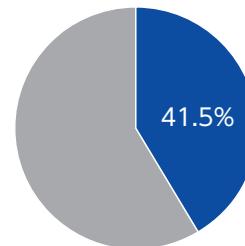
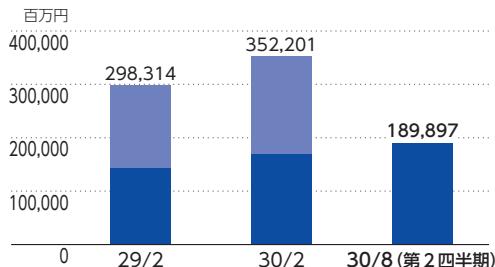
セグメント情報

鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

売上高推移



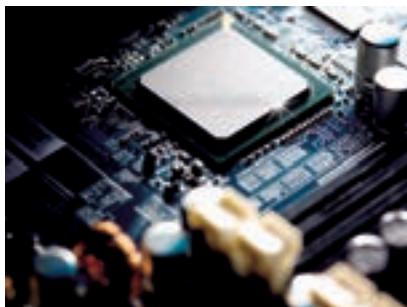
鉄鋼部門は、鋼材価格の上昇に加え、土木・建築及び製造業向けを中心に堅調でした。

特殊鋼部門は、国内外で自動車や建機・工作機械等の生産が堅調に推移し、数量も増加しました。

海外は、鋼材価格の上昇に加え、東南アジア向けが増加しました。

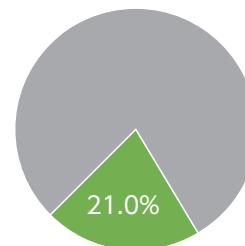
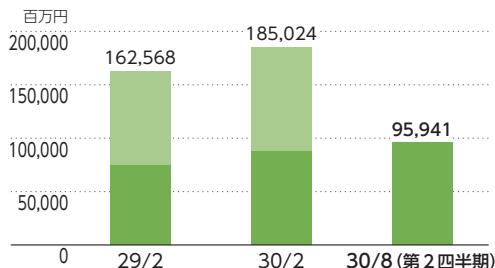
鉄鋼セグメントの売上高は、1,898億97百万円（前年同期比11.5%増）となり、順調でした。

情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

売上高推移



非鉄金属部門は、原材料価格の上昇に加え、自動車関連を中心に国内及び中国向けが増加しました。

エレクトロニクス部門は、車載用電子部品及び機器類、FA・IT関連などの分野で増加しました。

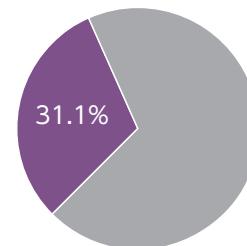
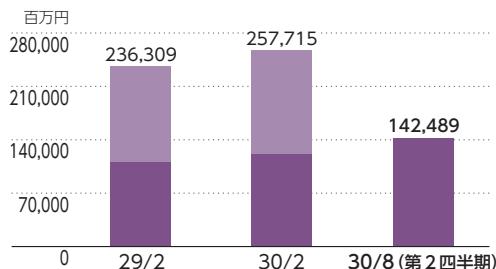
情報・電機セグメントの売上高は、959億41百万円（前年同期比9.1%増）となり、順調でした。

産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他

売上高推移



化成品部門は、原材料価格の上昇に加え、自動車関連向けが増加しました。

メカトロ部門は、設備機械や部品・工具の伸びに加え、航空機向けが大幅に増加しました。

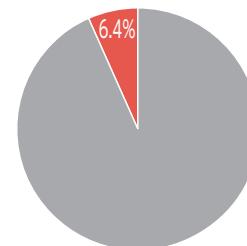
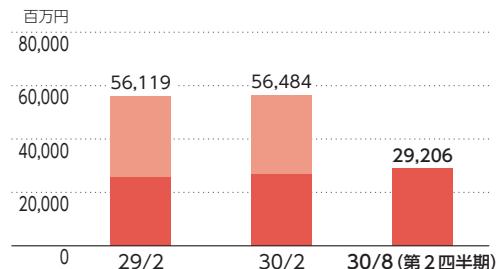
産業資材セグメントの売上高は、1,424億89百万円（前年同期比16.6%増）となり、好調でした。

生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他

売上高推移



配管建設部門は、ガス関連資材が底堅く推移し、建築物の請負工事が増加しました。

食品部門は、水産物の輸入及び量販店向け鶏肉加工品等が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、292億6百万円（前年同期比7.3%増）となり、堅調でした。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日現在)	前連結会計年度 (平成30年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	317,815	295,816
固定資産	198,038	206,580
有形固定資産	38,231	38,897
無形固定資産	1,218	1,267
投資その他の資産	158,589	166,415
資産合計	515,853	502,396
負債の部		
流動負債	251,655	239,150
固定負債	51,545	52,092
負債合計	303,201	291,242
純資産の部		
株主資本	138,441	131,144
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	121,976	114,674
自己株式	△ 462	△ 457
その他の包括利益累計額	64,848	70,716
その他有価証券評価差額金	60,623	66,088
繰延ヘッジ損益	130	△ 180
為替換算調整勘定	△ 22	608
退職給付に係る調整累計額	4,116	4,199
非支配株主持分	9,362	9,293
純資産合計	212,652	211,153
負債純資産合計	515,853	502,396

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (平成30年3月1日から 平成30年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成29年3月1日から 平成29年8月31日まで)
売上高	457,534	407,702
売上原価	426,572	379,199
売上総利益	30,962	28,502
販売費及び一般管理費	20,900	20,047
営業利益	10,061	8,455
営業外収益	3,560	3,338
営業外費用	1,415	902
経常利益	12,207	10,891
特別利益	12	3
特別損失	6	33
税金等調整前四半期純利益	12,212	10,860
法人税、住民税及び事業税	3,247	3,415
法人税等調整額	324	△ 396
四半期純利益	8,641	7,841
非支配株主に帰属する四半期純利益	375	363
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,265	7,478

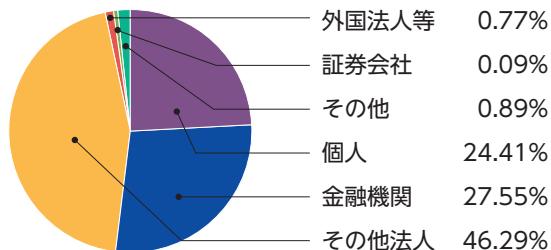
株式の状況 (平成30年8月31日現在)

株式の状況

株式数	
発行可能株式総数	35,571,200 株
発行済株式の総数	9,720,000 株
株主数	3,525 名

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

株主名	持株数 千株	持株比率 %
岡谷不動産株式会社	1,214	12.60
岡谷篤一	482	5.00
株式会社三菱UFJ銀行	462	4.80
新日鐵住金株式会社	424	4.40
三井住友信託銀行株式会社	402	4.17
株式会社りそな銀行	265	2.75
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	251	2.60
岡谷鋼機社員持株会	189	1.97
オークマ株式会社	163	1.69
公益財団法人真照会	138	1.44

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (86,392株) を控除して計算しております。
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

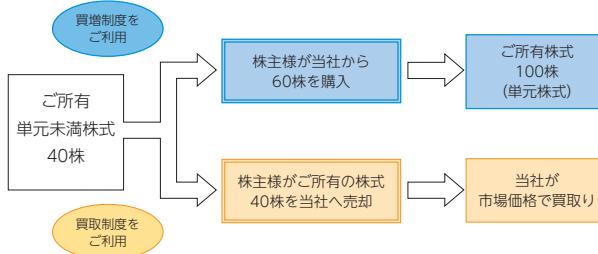
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式(1~99株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または100株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

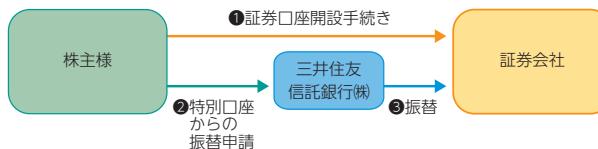
【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式40株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



※特別口座
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 5月
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日
 中間配当 8月31日
 公告の方法 電子公告
 ただし、電子公告によることができない
 やむを得ない事由が生じたときは、日本
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.okaya.co.jp/ir/pn/>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 連絡先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 全国本支店で行っております。

ホームページのご案内

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信
 等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載
 しています。
 是非一度ご覧ください。



・岡谷鋼機ホームページアドレス
<http://www.okaya.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	□座を開設されている 証券会社
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部

特別口座に記録された株式	
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 	三井住友信託銀行 株式会社証券代行部
<ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。